

2012 年 5 月 17 日

柳沢 明彦

富士通

SSPF（スマートセンシングプラットフォーム）について

1. 仕様

サービスや業務アプリ（HEMS など）を構築するにあたり、ベンダー毎に異なる機器の通信規格、ホームネットワークの通信規格、インターネットなどの通信規格と、それぞれの通信規格を意識する必要がある。

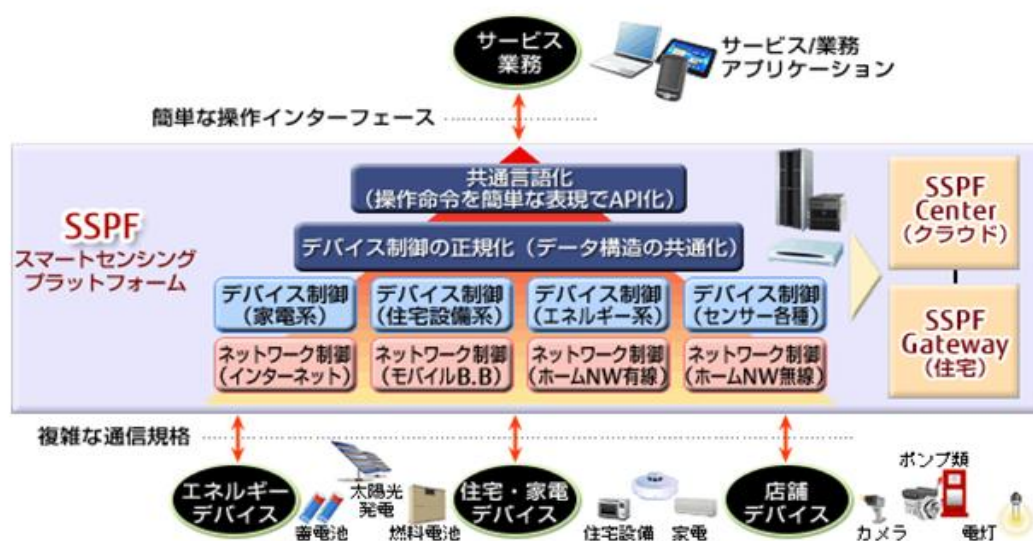
SSPF は上記の様々な通信規格を一括処理し、各機器の温度や熱などの情報を一般化したデータに変換して、WEB インターフェースとして連携することができ、サービスや業務アプリ側はベンダーごとの機器や通信規格を意識せずに構築・開発をおこなうことができるようになる。

SSPF はゲートウェイとサーバに分かれており、機器とホームネットワークを SSPF ゲートウェイで接続し、ゲートウェイからインターネットを介して、SSPF サーバへ接続する。

SSPF サーバで各機器の情報を変換し、サービス・業務アプリにインターネット接続をおこなうことができ、各機器を操作することができる。

OSGi 技術 (Java フレームワーク) を採用したプラグ&プレイ型の実行基盤を備え、必要な機能を柔軟にモジュール追加できるため、機器の機能進化や新製品への対応を迅速に行なえる。

※イメージ図



2. 価格と動作環境

商品名	製品型名	標準価格(税抜)	製品概要
SSPF Center メディアパック V01	NB500A01	20,000円	<ul style="list-style-type: none"> 各サーバにインストールするための媒体です。 別途、ライセンスをご購入いただく必要があります。
SSPF Center 基本ライセンス V01	NB500001	6,000,000円	<ul style="list-style-type: none"> SSPF Center サーバの基本機能を提供します。 インストールするサーバ1台に1ライセンスをご購入いただく必要があります。 仮想サーバ環境でご使用される場合は、仮想環境11に対して1ライセンスをご購入いただく必要があります。 インストールするハードウェア性能により、ゲートウェイ接続数は、最大10,000となります。
SSPF Center ゲートウェイ接続ラ イセンス	NB500101	6,000円	<ul style="list-style-type: none"> SSPF Center サーバにゲートウェイを1台接続するためのライセンスです。 1台のゲートウェイに接続する家電やエネルギー機器の台数は10台までとなります。
SSPF Center 追加機器接続ライ センス	NB500111	2,000円	<ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイに接続する、家電やエネルギー機器の台数がゲートウェイあたり10台を超える場合に必要となるライセンスです。

〈注〉ゲートウェイ側のソフトウェアが別途必要になります。ソフトウェアは対象となるゲートウェイ装置や実装条件により異なります。

SSPF V01 動作環境

ハードスペック	CPU	インテル® Xeon® プロセッサ 2.0GHz × 2 以上
	メモリ	4GB以上
	ディスク容量	73GB以上
対応OS	Red Hat Enterprise Linux Version 5.4	
必須ソフトウェア	Java SE 6.0	

以上